

上田 栄一 議員

(一問一答方式)



- ①地域自治組織再編について
- ②高校生への給食の提供について
- ③国民健康保険について
- ④暑さを売りにした集客について
- ⑤大洲喜多休日夜間急患センターについて
- ⑥太陽光発電設備の設置について

平成の大大合併に対するアンケート結果について

問 合併から20年を迎えようとする中、新聞報道で合併満足度に関する心情調査の結果が掲載されていたが、この結果について検証されたのか。また、どのように考えているのか伺いたい。

答 先の新聞報道の調査結果は、本市の合併から4年後の平成21年に実施されたものになりますが、最近の住民意識に関するデータとして、令和3年9月に第2次大洲市総合計画後期基本計画を策定するために市が実施した住民アンケートの調査結果があります。

それによると、「今後も大洲市に住み続けたいですか」との問いに対し、「これからもずっと住み続けたい」「当分は住み続けたい」と回答された方の割合は、大洲地域で85.1%、長浜地域で87.7%、肱川地域で87.0%、河辺地域で87.0%と、全地域において8割以上の方が住み続けたいと回答されています。アンケートの質問内容に違いはありますが、こうした結果は、合併後の市政運営に一定の評価をいただいているものと認識しているところです。

また、来年度から次期総合計画の策定に着手する予定としており、その中でアンケートやワークショップにより、これまでの市の施策に対する評価や、これからの市に求めるものなどについて調査することとしています。

高校生への給食の提供について

問 高校生への給食の提供に向けての進捗状況、及び実現見込みについて伺いたい。

答 昨年度実施した需要調査や先進地視察の結果を受け、今年度は、さらなる事業推進に向け、生徒、

保護者及び教職員を学校給食センターに招き、施設を見学し、実際に学校給食を試食していただきました。試食会の後にアンケート調査を実施し、学校給食の献立、学校給食の味、学校給食提供の希望の有無等について意見を伺いました。

学校給食の献立と学校給食の味については、おおむねよい評価を受けた一方、学校給食提供の希望の有無については、高校によりばらつきがあり、希望しない理由として、教職員からは「配膳に時間がかかる」「昼休みの時間が取れない」、また、保護者からは「毎日でなくてもよい」というものがあり、さらに自由意見では「教職員の負担が増える」「施設整備等が課題」などの意見がありました。

これらの結果を受け、学校側と今後の事業推進に向け意見交換を行っていますが、大洲高校、大洲農業高校では、まずは両校の完全統合を優先させたい、長浜高校では、現状では時間の変更や施設整備等は難しいとの意見であり、学校給食の提供に向けた課題は大きいものがあると感じています。

市としても、高校への学校給食の提供は保護者の負担軽減及び高校魅力化向上につながる取組と捉えていますので、実施可能な高校から給食提供ができるよう引き続き学校及び関係団体等と連携し、課題解決に向けた協議をしていきたいと考えています。

太陽光発電設備の設置について

問 太陽光発電設備の導入は、電気料金削減に有効な手段と考える。市の公共施設への導入について、考えを伺いたい。

答 公共施設への太陽光発電設備の設置は、電気代の削減に役立つほか、地球温暖化への対応策として有効な手段の一つであることから、公共施設の新設や建替えの際は、設備導入を検討しております。

また、令和7年度には、電力使用量の大きい施設である環境センターへ太陽光発電設備の導入を行うため、現在、実施設計を行っています。本施設へ導入予定の設備においては、計画出力が264キロワット、年間の発電見込み電力量が約28万キロワットアワーで、電気代の削減額は年間約680万円と見込んでいます。